

大妻同窓会福島だより

第5号 2012.04.20 発行

ご挨拶

大妻コタカ記念会会長 井上小百合



大妻同窓会福島が昨年設立5周年を迎えたことを心よりお慶び申し上げます。東日本大震災から1年が経ち、原発事故による影響の大きさは計り知れず、会員の方々の日常生活はいかばかりかと拝察するばかりです。設立から5年が経ち、同窓会としての基盤も安定してきた矢先に、活動がままならない状況に遭遇し、岸本代表をはじめ役員、会員の皆様はさぞ歯痒い思いでいらっしゃることでしょう。

大妻コタカ先生は、生涯にわたる幾多の試練にも、その都度逆境の中から前を向いて立ちあがっていかれました。そのコタカ先生のエネルギーを少しずつでも生きる力にして、皆様の明日の幸せを目指して進んでいただけたことを、切に願うものです。

大妻同窓会福島の益々の発展と会員の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。



大妻同窓会福島の会員の皆様こんにちは。

昨年の東日本大震災そして原発事故により、福島は心が休まらない日々を送っています。1年経ちましたが、皆様いかがお過ごしですか。

大妻同窓会福島は昨年5周年を迎えて、ささやかな集まりを11月13日(日)に行いました。当日は大妻同窓会宮城より、田中代表、芳賀様、黒沢様が出席くださいまして、それぞれの地域の近況をお話いただき感慨深い時間となりました。まだまだ落ち着かない中、お集まりいただきました会員の皆様に感謝すると共に、お顔を拝見して心温まる一時となりました。

今年も、秋に総会を開催したいと考えております。皆様で楽しめるゲームを予定しておりますので、是非ご参加いただきたいと思います。また、この度の大震災、原発事故にあたり、記念会と各地方同窓会よりお見舞いや励ましのお便りをいただきましたことを、厚くお礼申し上げます。

大妻同窓会福島代表 岸本有代

<様式-7> (第7会員様)

平成24年 3月31日
自 平成23年4月 1日
至 平成24年3月31日

平成23年度 大妻同窓会【福島】会計報告

収入の部
支出の部

平成 23 年度活動報告

- 平成 23 年 5 月 大妻同窓会福島だより第 4 号発行
- 6 月 12 日 青葉の集い
(東京アルカディア市ヶ谷・岸本出席)
- 6 月 12 日 大妻地方同窓会代表者会議
(大妻コタカ記念会館)
- 7 月 3 日 大妻同窓会宮城 近況を語ろう会出席
(ホテルメトロポリタン仙台
岸本・小松出席)
- 11 月 13 日 平成 23 年度大妻同窓会福島総会
(郡山ビューホテルアネックス)
- 平成 24 年 3 月 3 日 大妻地方同窓会代表者会議
(大妻コタカ記念会館)
- 3 月末日 大妻同窓会福島平成 23 年度会計報告
等提出

平成 24 年度活動計画

- 平成 24 年 4 月 20 日 大妻同窓会福島だより第 5 号発行
- 6 月 10 日 青葉の集い
- 6 月 10 日 大妻地方同窓会代表者会議
- 11 月予定 大妻同窓会福島平成 24 年度総会



平成 23 年度総会・懇親会を終えて

平成 23 年 11 月 13 日(日)郡山ビューホテルアネックスにおいて、大妻同窓会宮城から 3 名参加いただき 15 名にて、大妻同窓会福島平成 23 年度総会・懇親会が開催されました。

発足して 5 周年の記念の総会でしたが、東日本大震災と原発事故の発生によりささやかな会になりました。まず、犠牲者に黙祷を捧げ、昼食をいただきながら、それぞれの地域の会員の皆様のお話を伺いました。その中で、それまで知らずにいた被害の大きさや様々な体験、それに伴う苦労や不安な気持ちをお聞きしました。そして、深いため息とともに改めて考えさせられ、引き続き心に留め頑張っていかなければと思った次第です。

当日は、大妻同窓会宮城の皆様、また多くの福島の会員の皆様から、各地の美味しい銘菓をたくさん差し入れていただきました。ありがとうございました。

学院創立 100 周年記念 ハローキティストラップ

福島の会員の皆様(総会出席者・地方同窓会費納入の皆様)にお渡し、またはお送り致しました、袴姿のキティちゃん携帯ストラップはいかがでしたでしょうか。とてもかわいいと多くの皆様に喜んでいただきました。

体の具合がすぐれず、総会には出席できずすみません。お便りと、ストラップを有難うございました。袴姿で、さっそうと学舎を進まれて我々をご指導くださったコタカ先生を思い出し、そしてまた自分自身の若い頃、学生時代を大変懐かしく思い出しました。思わぬ可愛らしい贈り物を有り難うございました。
(川上英子 S14 裁縫高等)



震災から 9 か月が過ぎても、津波被害の海岸へは出かける気持ちになれず、テレビ映像を見ては胸が一杯になっておりました。

総会のお便り、可愛いストラップも同封されていて、大切に使わせていただきます。恐縮に存じます。

(大平由子 S34 短大)

大妻コタカ記念会館

学校法人大妻学院創立者大妻コタカの生誕 125 年記念事業として「大妻コタカ記念会館」が建設され、平成 23 年 6 月 11 日(土)、竣工披露式が行われました。



今後は、大妻コタカ記念会の各種事業の推進の場として機能的に活用していくほか、会員の皆様が集い親睦を深める場として利用していただけます。

エコキヤップ運動

昨年より会員の皆様にご協力をお願いしてまいりましたエコキヤップ運動。ペットボトルのキャップを回収して、発展途上国(ミャンマー・ラオス・ブータン)の子供たちにワクチンを贈る運動です。

エコキヤップ約400個を1kgと換算し、1kgで10円となります。2kg(約800個=20円)でポリオワクチン1人分が購入できます。

昨年の総会にお持ちいただいたエコキヤップは3.2kg(1280個)でした。

ご協力ありがとうございました。

引き続き、大妻同窓会福島ではエコキヤップ運動に参加しようと考えております。ペットボトルのキャップを総会の日にお持ちいただければ幸いです。役員で責任を持ちまして、福島民友新聞社に納めてまいります。ご協力をよろしくお願い致します。

ありがとうございます

会員の皆様より、様々ななかたちでご寄付をいただきました。ここにお礼と会員の皆様への報告とさせていただきます。有り難うございました。

笠原礼子さん、安藤敬子さん、大平由子さん、佐藤恭子さん

小松宏子さん、阿部晶子さん、成田淳子さん

また、昨年の大震災・原発事故の際には、記念会・各地方同窓会からご心配いただき、励ましのお電話やお手紙をいただきました。

さらに、大妻同窓会埼玉・神奈川・長野・新潟・広島世羅の皆様より、お見舞いをご恵送いただき有り難くお礼申し上げます。

この場をお借りしまして、お礼と大妻同窓会福島の会員の皆様にご報告させていただきます。

《編集後記》

平成23年発足5周年を迎ましたが、震災・原発事故の発生により、心身共に以前のようなゆとりを取り戻せずにおります中、皆様のお顔を思い浮かべながら、おたより第5号を作成しました。総会と同じように会員の皆様の交流の場となつていただければ幸いです。

どうぞ近況や母校の思い出、会への要望や助言、お知らせ等をお寄せいただければ幸いです。皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

発行：大妻同窓会福島

代表 岸本有代